

20 : 昔のまち並み全体が観光ホテルに ～日本遺産のまち佐原で学ぶ持続可能な観光まちづくり～

プログラムの内容

▶「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されているエリアのある佐原は江戸時代に商都として繁栄し、今でも素晴らしい歴史文化が残っています。古民家利活用を柱とする観光まちづくりの取り組みについて、その背景や仕組みのレクチャーとフィールドワークを通じて学習し、持続可能な街づくりの在り方や自分たちの故郷を大切にする意識を育む

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】】

▶ゴール11（ターゲット 11 . a）：地域開発への取り組みを通して、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援している。

▶ゴール12（ターゲット 12 . 5）：建造物を観光関連の施設として再生・利活用することを通して、廃棄物の発生防止、削減に貢献。



事前学習

- ▶ 空き家問題とは何か調べる
- ▶ 佐原の歴史を自分たちで調べる
- ▶ 重要伝統的建造物保存地区について学ぶ

現地学習

- ▶ 古民家再生の取り組み手法をレクチャー
- ▶ 実際の事業例の見学と街並み自由散策
- ▶ 景観維持の難しさとの解決の取組実践からSDGsを学ぶ

事後学習

- ▶ ニッポニアサワラの取組前と現在の変化をまとめる
- ▶ 自分たちの住む町＝ふるさとの持続に何が必要かまとめてみる

プログラムのポイント！



NIPPONIA SAWARA（ニッポニアサワラ）は、佐原地区の古民家を宿泊施設やレストランに改修しながら歴史ある景観を守りつつ街の活性化に取り組んでいます。このプログラムでは観光目線から持続可能な街づくりについて講演とフィールドワークを経て学んでいただきます。地域と金融機関・国との連携による新たな仕組みを学び、その成果事例としての古民家ホテルを特別に見学して体感することがポイントです。

| | | | |
|-------------|-------------|---------------|-------------------------------------|
| 受入人数 | 20名以上80名まで | 対象 | 中学生以上 1日1校まで |
| 受入可能時期（休業日） | 平日限定 | 1人/1回 当たり料金 | 一人2,000円+ レクチャー会場費（応相談） |
| 受入可能時間 | 10:00～15:00 | 備考 （雨天対応等） | 状況により内容を変えることもあります 街歩きは自由行動が基本です |
| 体験時間 | 街歩き含めて4時間程 | | |

▶ 問い合わせ

名称：NIPPONIA SAWARA

担当：古屋

TEL：070-4514-8886

営業時間 受付対応10:00～17:00

休館日：土・日・祝日 年末年始